

パンデミック下での医学的リハビリテーション：新しい展望に向けて

【文献の概要】

- ・COVID-19 感染者は、急性期から亜急性期にかけて様々な合併症を起こす可能性があり、早期からリハビリテーションの提供が必要である。
- ・COVID-19 回復者は、時間の経過とともにリハビリテーションの必要性や合併症の治療・管理方法が変化するため、長期的なリハビリテーションの提供が必要である。

【文献のカテゴリ】

論評（コメンタリー）

【文献の内容】

- ・中国やヨーロッパ諸国の報告では、COVID-19 感染者は一般的に認識されている呼吸器症状に加えて、脳血管疾患や神経筋疾患などの神経学的症状、うつ病や不安障害などの心理学的症状を起こす可能性がある。
- ・これらの合併症を考慮すると、急性期でのリハビリテーションの提供はもちろん、COVID-19 回復者に対する急性期後のリハビリテーションの需要が高まる可能性がある。
- ・COVID-19 対応チームには、リハビリテーション専門職が含まれるべきであり、回復者の地域社会への復帰を支援するために長期的なアプローチが必要である。

表. COVID-19 患者のリハビリテーションアプローチに関する推奨事項（一部抜粋）

組織の観点から	運用の観点から
<ul style="list-style-type: none"> ・新規感染者と回復者を分けるための亜急性期リハビリ施設の設置。 ・多職種がコミュニケーションをとるための電子プラットフォームの確立。 ・職員に対する財政的、心理的支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染者と非感染者のリハビリ場所を分ける。 ・職員や患者/介護者への教育（個人保護具、感染管理） ・社会的距離を保つためのリハビリスペースの再編 ・遠隔リハビリなど代替手段の検討

【この文献から地域理学療法を展開する上で参考になること】

- ・COVID-19 感染者は呼吸器症状以外にも、神経学的症状や心理学的症状などの合併症を起こす可能性があるため、急性期後も障害を残すことがある。
- ・COVID-19 回復者に対して、急性期後の継続したリハビリテーションの必要性を提起している。

【出典】

Khan F, Amatya B. Medical Rehabilitation in Pandemics: Towards a New Perspective. J Rehabil Med. 2020 Apr 14. doi: 10.2340/16501977-2676.

発行日：2020/7/1

文責：佐久総合病院 深町光太郎